

日本獣医生命科学大学が聖徳学園中学・高等学校と合同研修会を実施 --「社会で求められる力」を題材に、教職員が交流

日本獣医生命科学大学（東京都武蔵野市）は10月16日、隣接する聖徳学園中学・高等学校（東京都武蔵野市）と合同研修会を実施した。これは、昨年締結した連携事業に関する協定に基づいて行われたもので、今回で2度目。当日は、「社会に求められる力をはぐくむには～大学・高校の観点から～」をテーマに、両校の教職員が発表を行い、交流を深めた。

日本獣医生命科学大学と、聖徳学園中学・高等学校を擁する学校法人聖徳学園は、2019年9月に連携事業に関する協定を締結した。同協定は、ともに東京都武蔵野市境南町を拠点とする両校が、隣接する立地を活かして相互の教育分野や社会・地域への貢献に係る連携・交流を通じて、互いの教育機会の提供や学習意欲を高め、各校の充実、活性化を図るとともに、地域に貢献することを目的としている。

この協定に基づき、10月16日に第2回合同研修会を行った。今回は聖徳学園中学・高等学校を会場とし、新型コロナウイルスへの感染対策を十分に行った上で、両校合わせて19名の教職員が参加。「社会に求められる力をはぐくむには～大学・高校の観点から～」をテーマに、聖徳学園中学・高等学校の伊藤正徳校長と同大のIR担当専従職員が発表を行った。

伊藤校長は「社会で求められる力とSTEAM教育」、IR担当専従職員は「データで読み解くニチジュウ～社会の求められる力～」と題して、社会で求められる4つの力「問題解決力」「継続的な学習力」「主体性」「チームワーク力」について講演。社会に出る前の学生はその力の性質を認識し、自身に身につけているか認識できているか、入学してくる学生の実態や、大学の授業でどのような力を身につけているのか、大学と高等学校における実態等について考える機会となった。

その後、高大連携を図るため、同大の入学試験制度について説明が行われ、第2回合同研修会は終了した。



▲両校合わせて19名の教職員が参加。



▲本学IR担当専従職員が発表を行った。



▲聖徳学園中学・高等学校からは伊藤校長が発表を行った。



▲最後に、本学の入学試験制度についても説明があった。

<お問い合わせ先>

日本獣医生命科学大学 学長室・企画調査課

〒180-8602 東京都武蔵野市境南町1-7-1

TEL: 0422-31-4151 (代) FAX: 0422-33-2094 MAIL: ir-nvlu1@nvlu.ac.jp